

研 修 部 だ よ り

近盲研 重点部会 教科指導研究会

科学ヘジャンプ・イン・和歌山2023

8月7日(月)、本校にて近畿盲学校教育研究会 重点部会 教科指導研究会(科学ヘジャンプ)が開催されました。科学ヘジャンプの主な目的は、視覚に障害のある児童生徒が科学にチャレンジする機会を創出することです。

ワークショップ I (午前の部)

- ①モデルロケットを製作し、火薬を用いて上空まで飛ばしてみよう[和歌山県立桐蔭高校 藤木先生]
- ②水素を発生させ、マッチで点火して爆鳴を確かめよう[元筑波大学教授 鳥山先生]
- ③オイラーの散歩道(一筆書きを考える)[全国高等学校長協会入試点訳事業部 高村先生]
- ④空気のか[大阪科学技術センター 中村先生]

ワークショップ II (午後の部)

- ①モデルロケットを製作し、火薬を用いて上空まで飛ばしてみよう[藤木先生]
- ②骨は語る[鳥山先生]
- ③立体同士の関係を見つけよう(立体を手中で観察しよう)[高村先生]
- ④和歌山わくわく[和歌山盲学校 吉瀬先生]
- ⑤共に働き、共に楽しむ[橋本市立隅田中学校 大前先生]



当日は近畿の児童生徒を中心に、133名が来校されました。児童生徒からは「よく分かった」「知らないことを分かりやすく教えてくれた」「いろいろな経験ができるからまた参加したい」という感想が寄せられました。

近盲研 幼小部会 自由研究会

交流及び共同学習について

8月29日(火)、オンラインにて近畿盲学校教育研究会 幼小部会 自由研究会が開催されました。本校と福井県立盲学校による共同開催です。

前半は本校と福井県立盲学校の実践報告、後半は「共同学習・授業交流を充実させ、深めていくために」「お互いの学びにするためにはどのようなことが大切か」というテーマで協議や情報交換を行いました。

本校からは、小学部4年児童の1年生から現在に至る居住地校交流の取り組みについて実践報告を行いました。普段、個別指導や少人数での授業が多いため、居住地校交流でたくさんの児童と一緒に学び合えることは貴重であること。交流校の児童に自分のことを伝える活動

を通して、自分について考えるきっかけになったこと。積極的な関わりを促すきっかけになったこと等を発表してくれました。



協議では、複数の学校がオンライン等を活用して県外の学校と交流していることを知りました。オンラインで交流していた児童同士が、修学旅行や科学ヘジャンプ等の行事・イベントをきっかけに直接交流をし、つながりを深めていく事例もありました。

コロナ禍でオンラインの活用は急速に進みました。今後、本校でも児童生徒同士の学び合いが発展していくよう、オンラインを活用した交流及び共同学習等を進めていきたいと考えています。